

グリーンガード® グリーンガード®・エイト

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

薬効・薬害などの注意

- 本剤は、マツノマダラカミキリ成虫によって伝播されるマツノザイセンチュウの侵入増殖防止を目的とするもので、マツノマダラカミキリには効果がありません。
- 薬液が樹全体に移行するのに、若木・樹勢旺盛な木では1ヶ月、大木や樹勢の弱い木などでは2~3ヶ月要する為、本剤の注入はマツノマダラカミキリ成虫発生期の3カ月前までに行うこと。
- 本剤注入後のマツノザイセンチュウに対する効果の持続期間は6年ですが、樹種、樹齢、樹勢、生育場所、気象などの各種条件によって変動するので、再注入時期については林業関係機関、林業技術者などの指導を受けられる事をお勧めします。
- 樹脂流出に異常のある松や、葉が変色した松には治療効果がないので注入時期を失しないよう注意すること。
- 注入作業は晴天日に、寒冷地ではできるだけ暖かい日に行ってください。特にグリーンガードは、有効成分の析出を防ぐため、過度な低温下での注入作業は避けてください。
- 注入後の容器は速やかに回収し、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 注入終了までの時間は、普通3~6時間程度です(早い場合1時間、遅い場合48時間)。
- 注入中は縄囲いなどで作業員以外の者がふれないように注意してください(公園、街路などでは手の届かない位置に注入し、空容器は早めに回収してください)。
- 注入量は樹幹の胸高直径の大きさによって増減してください。
- 庭園松などは見かけ上、胸高直径に比べ材積量が少ないことから、樹体内の薬剤濃度が高くなり、一部の針葉の黄化を招くおそれがありますので、通常の薬量の半量を目安として注入してください。また、樹勢の衰えている松や矯正された松などは、樹の材積量を勘案して使用してください。

製品概要 (グリーンガード)

| | |
|-----------------------|--|
| 農林水産省登録 | 第15278号 |
| 農薬の種類 | 酒石酸モランテル液剤 |
| 物理化学的性状 | 黄褐色澄明水溶性液体 |
| 有効成分 | トランス-1,4,5,6-テトラヒドロ-1-メチル-2-[2-(3-メチル-2-チエニル)ピニル]ピリミジン酒石酸塩…12.5% |
| その他の成分 | 水・有機溶剤等…87.5% |
| 毒性 | 普通物* |
| 水産動植物への影響にかかる使用上の注意事項 | この登録に係る使用方法では該当がない。 |
| 包装 | 140mL×50本入 |
| 二石・III・水溶性・火気厳禁・メタノール | |

グリーンガードホームページ www.greenguard.jp/



ゾエティス・ジャパン株式会社
〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-7 (新宿文化クイントビル)
03 (5309) 7283

特約店

- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、林業技術者の指導を受けてください。

- 一般に庭園などの松や造形木は樹勢が衰えていることが多いため施工はお奨めできません。しかし、施工可能と判断されるものについては、施主や所有者の同意に基づき諸注意事項を守り、慎重に対処してください。

安全使用上の注意

- 作業中容器の破損を防ぐため取扱いは特に慎重に行うこと。作業中は手袋などをつけて注入液が身体に付かぬよう注意し、作業後は、顔・手足など石けんで洗うこと。使用中身体に異常を感じた場合には安静にして直ちに医師の担当を受けさせる。
- 目に対して刺激性があるので、目に入った時は直ちに洗眼し医師の担当を受けさせる。
- 万一誤飲の際は、多量の水を飲ませるなどして胃の中のを吐き出させる。安静にして直ちに医師の担当を受けさせる。
- 子供等が作業現場に近づかないよう配慮し危険防止のための措置を講じる。

貯蔵および運搬上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別し、なるべく低温の場所に密栓して保管してください。ただしグリーンガードは析出のおそれがあるため、過度の低温化は避けて、運搬および保管をしてください。

お願い

- 本剤は確実な効果を上げ、又、形成層傷害などをおこさないよう「ラベル」と製品に添付の「グリーンガード、グリーンガード・エイトの使用法」を熟読の上、正しく施工を行ってください。

製品概要 (グリーンガード・エイト)

| | |
|-----------------------|---|
| 農林水産省登録 | 第16441号 |
| 農薬の種類 | 酒石酸モランテル液剤 |
| 物理化学的性状 | 淡黄色澄明水溶性液体 |
| 有効成分 | トランス-1,4,5,6-テトラヒドロ-1-メチル-2-[2-(3-メチル-2-チエニル)ピニル]ピリミジン酒石酸塩…8.0% |
| その他の成分 | 水・有機溶剤等…92.0% |
| 毒性 | 普通物* |
| 水産動植物への影響にかかる使用上の注意事項 | この登録に係る使用方法では該当がない。 |
| 包装 | 220mL×50本入 |

※毒劇物に該当しないものを指している通称

- グリーンガードファミリーとして、グリーンガード・NEO(酒石酸モランテル20%)もございます。

グリーンガード® Greenguard®

グリーンガード®・エイト Greenguard® Eight



効果持続期間

6年





グリンガード・ファミリーの確かな効果

樹幹注入No.1の実績が示す信頼の効果

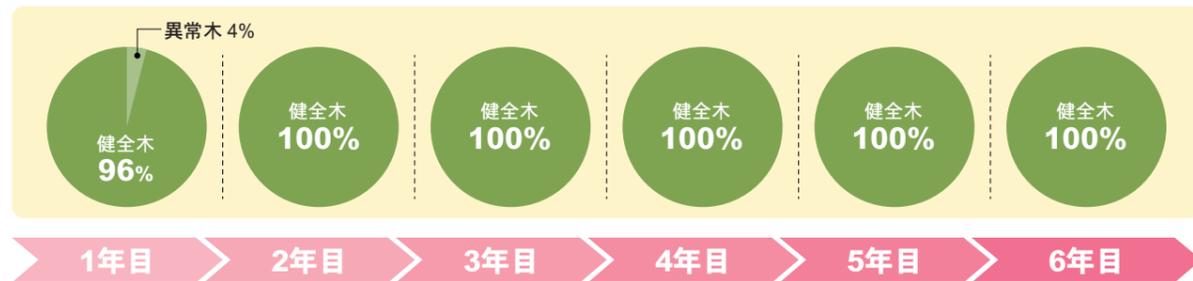
昭和57年の発売以来、No.1の施工実績が信頼の証です。公的試験において、その確かな効果が証明されました。

グリンガード、グリンガード・エイト効果持続試験成績 (林業薬剤協会委託試験結果抜粋)

グリンガード、グリンガード・エイトは、公的機関における6年目の効果持続試験において、それぞれ100%、96%の防除効果を証明しました。

試験期間 1998年～2003年 試験機関 静岡農林技術研究所 森林・林業研究センター、滋賀県森林センター

●グリンガード



※グリンガード1年目の異常木は、翌年回復

●グリンガード・エイト



※グリンガード・エイト2年目の異常木は、翌年回復

対照区においては1～6年目の全ての年で枯損木が70%以上であり、接種したセンチウの病原力及び接種方法の妥当性が確認された。

フォロー体制

注入後の樹体内薬剤濃度検査による信頼のフォローアップで、より確実な防除効果を発揮します。

樹体内の薬剤濃度は、同じ枝部でも樹齢や樹勢、生育環境、気象条件によって大きく変動することが知られています。

また少量注入剤等は、注入量が少ないため、樹体内各部への移行量が不足して一部枯死や半身枯死が危惧され薬剤濃度検査の必要性が指摘されています。

効果を確認するだけでなく、再注入の適切な時期を決めるためにも薬剤濃度検査をお勧めします。

(ゾエティス・ジャパン株式会社では薬剤濃度検査サービスを実施しています。詳細は弊社担当者、または正規代理店にご相談ください。)



施工

使用時期

マツノマダラカミキリの成虫発生3カ月前まで

| | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
|-------|----------|-----|----------|----|----|----|--------------|----|----|----|
| 東北 | 樹幹注入実施時期 | | 樹幹注入実施時期 | | | | カミキリ成虫発生・後食期 | | | |
| 関東～九州 | 樹幹注入実施時期 | | 樹幹注入実施時期 | | | | カミキリ成虫発生・後食期 | | | |
| 沖縄 | 樹幹注入実施時期 | | 樹幹注入実施時期 | | | | カミキリ成虫発生・後食期 | | | |

薬剤使用量

| 胸高直径 (樹幹部) | 使用本数 |
|------------|------|
| 10～15cm | 1本 |
| 15～20cm | 1.5本 |
| 20～25cm | 2～3本 |
| 25～30cm | 3～4本 |
| 30～35cm | 4～5本 |
| 35～40cm | 5～6本 |

40cm以上は直径5cm増すごとに0.5～1.5本を順次増量。

注意

- 1 使用量は自然生立木を基準にしておりますので、胸高直径に比べ材積量が少ない松は樹体内の薬剤濃度が高くなり、一部の針葉の黄化を招くおそれがありますから、通常の薬量の半量を目安として注入してください。また、樹勢の衰えている松や矯正された松などは、樹の材積量を勘案して使用してください。
- 2 胸高直径45cm以上の大径木・巨木については、通常、胸高直径に比べ材積量が急激に増加しますので、必要に応じてさらに1本ずつ増量してご使用ください。
- 3 一般に庭園などの松や造形木は、樹勢が衰えていることが多いため施工はお奨めできません。しかし、施工可能と判断されるものについては、施主や所有者の同意に基づき諸注意事項を守り、慎重に対処してください。

施工木

ポンチやコルクボーラーで粗皮や甘皮を除去し、ヤニの出具合でマツが健康かどうか判断します。健全である(異常なし)と判断されたマツにのみ薬剤注入を行って下さい。



樹脂(ヤニ)の出方によるマツの診断法(小田氏より)

●異常なし

| | |
|-------------------|------------------|
| | |
| 樹脂がたまり時間がたつと流れ下る。 | 左よりやや少ないと思われるもの。 |
| +++ | ++ |

●異常あり

| | | |
|-------------|--------------------|-----------|
| | | |
| 部分的に粒出する程度。 | 微粒が若干あるが、樹脂気があるもの。 | 樹脂気なく乾燥気味 |
| + | ± | 0 |

※粗皮・甘皮を除去後、通常では1～2時間、冬期は一晚程度経ってから、ヤニの出方を観察します。